

徐福

～悠久の旅の始まり
ストーリー（概要）

時は紀元前240年。始皇帝が秦王として13歳で即位しました。

徐福も10代の若者で仲間たちと村の留守番をしていました。大人たちは戦にかり出され、食料を調達しに何日も村を離れています。

徐福は仲間たちと力を出し合い働いていました。農作物の作り方や、病気に使う植物のこともよく知っていました。人気の若者でした。

そんな時、遠く秦国から始皇帝が、村の近くまで偵察をかねてやってきました。ちょうど村の入り口にさしかかった時、始皇帝が高熱で倒れてしまいます。

そこへ徐福が現れました。村での彼の働きを見ていた医者、徐福は自分より優れているかもしれないと、始皇帝を診てもらうことにしました。

徐福は、始皇帝を診るなり処方をはじめ、子どもたちは徐福に言われた植物の葉や根っこ、お湯を用意して始皇帝を治療しました。

一命を取りとめた始皇帝は徐福に感謝し、友として将来を約束しました。二人は夢を語り、徐福は始皇帝がいずれ中国を統一するだろうと予言します。

徐福も自分の力で国を創りたいと打ち明けます。東の地に不老不死の薬草があり、それで多くの人を幸福にしたいと。

始皇帝は徐福の夢に賛同し、自分が中国を統一した時には、徐福の夢をかなえる手助けをするからと言って村を後にしました。

徐福の人間性と、明るさと、大いなる夢が周りの人々を変えて、幸せにしていきました。



▲上海万博で、創作ミュージカル「徐福」を披露するティーンズミュージカルSAGAの団員たち。

佐賀市と中国友好の架け橋に ティーンズミュージカル SAGA

約2、2000年前、秦の始皇帝の命を受け、不老不死の薬を求めて中国から佐賀へやってきたと伝えられる徐福。佐賀市には、徐福にまつわる話が残っています。ティーンズミュージカルSAGAは、徐福を題材にミュージカルを製作。上海万博佐賀県の日で披露しました。佐賀市と中国の友好、そしてつながりを広く紹介するため練習に励んだ団員たち。佐賀市の魅力を笑顔で世界に伝えました。

中国で開催された上海万博期間中の10月2日(土)、日本館のイベントステージで、佐賀市から参加したティーンズミュージカルSAGAが、創作ミュージカル「徐福～悠久の旅の始まり～」を披露しました。九州への観光客誘致を図るイベント「8宝国九州・沖繩ウィーク」が9月29日(水)開幕。期間中の「佐賀県の日」にあわせて披露したものです。団員は小学生から高校生までの21人。8月上旬から週2回の練習をかさね、本番を控えた9月23日(木・祝)には金立町の徐福長寿館で事前発表を行いました。

「交流を深めたい」と笑顔で出陣しました。初の海外公演となった上海万博。晴れの舞台で創作ミュージカル「徐福」を披露したティーンズミュージカルSAGA。佐賀市と中国の友好の架け橋に、21人の団員の踊りと歌声で佐賀市の元気を世界に発信しました。今後も佐賀市内の各種団体に招かれ再演を予定しているそうで、来年2月13日(日)には、佐賀県徐福会の主催公演を佐賀市民会館で行う予定です。

徐福の話
約2200年前、中国の秦の始皇帝は、不老不死の薬を探そうと徐福に命じ、徐福は童男童女3000人を連れ出航。有明海にきて上陸地を占うため海に盃を浮かべ、流れ着いた諸富町に上陸しました。その後、金立山へむかい霊薬を探し出したと言われています。諸富町には上陸地の「浮盃」、金立町には布を敷き進んだことから「千布」の地名が残っており、徐福が発見したと伝えられる古湯温泉もあります。現在、佐賀市は徐福の縁で中国連雲港市と友好都市を締結。出航したといわれる慈溪市とも交流を続けています。

中国では映画化も予定されているという「徐福」。脚本を製作した代表の栗原誠治さんは「2、2000年前の人物がその名前を佐賀に残している。きっとすばらしい人物だったのだろう」と思い、若かりしころの徐福と始皇帝の友情を、30分のミュージカルにしました。異国の地で佐賀のすばらしさを伝えられるよう全力をつくします」とミュージカル製作の思いを語り、日中関係がぎくしゃくしていた時期、団員の中並翼さん(17)は「佐賀の文化を発信すると同時に、私たちが中国の文化をたくさん吸収し

ティーンズミュージカルSAGA

佐賀市を拠点に活動する10代の子も達によるミュージカル劇団。舞台創作を通じて子ども達の心と身体の成長を育んでいます。年1回の本格的ミュージカル公演を佐賀に根付かせ、全国に向けて文化発信することを目指しています。今年も佐賀市文化会館大ホールで12月26日(日)に第6回公演「ミュージカル☆ミュージカル♪ミュージカル!!」を上演します。☎26・8892 FAX26・8899

企画・取材・編集
本庁 秘書課 広報係 ☎40・7021 FAX24・3463